

柔軟フッ素ホースシリーズ 耐薬品性データ

⚠️ 当社製品を安全にご使用いただくために各材料における耐薬品性を参考資料としてご参照ください。また、下記注意事項についてもよくお読みください。

<判定基準> ○=使用可 △=十分な確認が必要 ×=使用不可 - = データなし

※当社にお問い合わせいただく際には、ご面倒でも 1. 使用圧力 2. 使用最高温度
3. 濃度 4. 配管状況 5. 用途 をご確認の上、お問い合わせください。

1. この耐薬品性一覧表の判定基準は一定の条件下で作成しています。従って貴社の使用環境、使用条件、使用期間等では、判断基準が〇であっても適さない場合があります。
 2. ご使用の際には必ず貴社にて実際の使用条件下でのご確認をお願い致します。
 3. 一覧表の薬品は特に断りのない場合、水溶液濃度は飽和状態とします。
 4. ()内は、濃度・試験温度を示します。無記入の試験温度は、ホースの最高使用温度です。
 5. この一覧表は、材質の耐薬品性一覧表であり、薬品が気体である場合の透過率を表すものではありません。透過すると危険である薬品类(活性ガス等)は、使用しないでください。
 6. ホースの内層材に耐性を有しても、使用条件によっては内層を透過して中間層、外層が劣化・膨潤し、変色・漏れ・破裂の恐れがあります。設置前に充分ご確認ください。

	樹脂	4フッ化系 フッ素樹脂	2フッ化系 フッ素樹脂	SUS 316L
ア	アクリロニトリル	○	○	△
	アセチレン	○	○	○
	アセトアルデヒド	○	○	○
	アセトン	○	×	△
	アニリン	○	×	△
	亜麻仁油	○	○	○
	アミルアルコール	○	○	△
	亜硫酸	○	○	△
	亜硫酸ガス	○	○	△
	亜硫酸ナトリウム	○	○	○
	安息香酸	○	○	△
	アンモニア溶液 (28%)	○	○	○
	アンモニアガス (冷)	○	○	○
	アンモニアガス (熱)	○	○	△
	イオウ	○	○	△
	一酸化炭素	○	○	○
	イソプロピルアルコール	○	○	△
	エチルアルコール (エタノール)	○	○	○
	エチルエーテル (ジエチルエーテル)	○	○	○
	エチレングリコール	○	○	△
	エチレンオキサイド	○	○	△
	エチレンジアミン	○	×	-
	エチレンジクロライド	○	○	-
	エピクロルヒドリン	○	×	-
	塩化亜鉛	○	○	○
	塩化アルミニウム	○	○	×
	塩化アンモニウム	○	○	△
	塩化カリウム	○	○	○
	塩化カルシウム	○	○	△
	塩化第二錫	○	○	×
	塩化第二水銀	○	○	×
	塩化第二鉄	○	○	×
	塩化銅	○	○	×
	塩化ニッケル	○	○	×
	塩化バリウム	○	○	△
	塩化マグネシウム	○	○	×
	塩化メチル	○	○	○
	塩酸 (10%, 20°C)	○	○	×
	塩酸 (20%, 20°C)	○	○	×
	塩酸 (20%, 80°C)	○	○	×
	塩酸 (38%, 20°C)	○	○	×
	塩素ガス (乾)	○	○	×
	王水	○	○	×
	オゾン (ガス50ppm)	○	○	○
	オレイン酸	○	○	△
力	海水	○	○	○
	過塩素酸	○	○	×
	過酸化水素 (5%, 20°C)	○	○	△
	過酸化水素 (5%, 50°C)	○	○	△
	過酸化水素 (30%, 20°C)	○	○	△
	過酸化ナトリウム	○	○	△
	か性カリ	○	○	△
	か性ソーダ (10%, 20°C)	○	○	△
	か性ソーダ (30%, 20°C)	○	○	△
	か性ソーダ (30%, 70°C)	○	×	△
	ガソリン	○	○	○
	過マンガン酸カリウム (5%, 20°C)	○	○	△
	キ酸 (25%, 20°C)	○	○	○
	キ酸 (50%, 20°C)	○	○	○
	キシレン	○	○	○
	クエン酸	○	○	△
	グルコース	○	○	○
	グリセリン	○	○	○
	クレゾール	○	○	○
	クロム酸 (25%, 80°C)	○	○	△

	薬品名	樹脂	4フッ化系 フッ素樹脂	2フッ化系 フッ素樹脂	SUS 316L
カ	クロロスルホン酸	○	—	×	
	クロロホルム	○	○	△	
	クロル酢酸 (70°C)	○	○	—	
	クロルベンゼン	○	○	—	
	けい酸ナトリウム	○	○	△	
	ケロンシン (灯油)	○	○	○	
	鉛油	○	○	○	
サ	酢酸 (10%、20°C)	○	○	○	
	酢酸 (50%、20°C)	○	○	△	
	酢酸 (50%、80°C)	○	○	△	
	酢酸 (100%、20°C)	○	○	△	
	酢酸アルミニウム	○	○	△	
	酢酸エチル	○	×	△	
	酢酸カルシウム	○	○	△	
	酢酸鉛	○	○	△	
	酢酸ブチル	○	×	△	
	サラダ油 (80°C)	○	○	○	
	三塩化リン (80°C)	○	○	—	
	サリチル酸	○	×	△	
	酸素	○	○	○	
	次亜塩素酸ナトリウム (5%、20°C)	○	○	△	
	次亜塩素酸ナトリウム (5%、80°C)	○	○	△	
	シアノ化銅	○	○	○	
	四塩化炭素	○	○	△	
	シクロヘキサノール	○	○	△	
	シクロヘキサン	○	×	△	
	ジブチルエフタート	○	×	△	
	脂肪酸	○	○	○	
	ジメチルホルムアミド	○	×	○	
	臭化水素酸 (20%、20°C)	○	○	×	
	臭化水素酸 (20%、70°C)	○	○	×	
	臭化水素酸 (37%、20°C)	○	○	×	
	しゅう酸	○	○	×	
	臭素	○	○	×	
	硝酸 (10%、20°C)	○	○	○	
	硝酸 (10%、80°C)	○	○	○	
	硝酸 (30%、20°C)	○	○	○	
	硝酸 (30%、70°C)	○	○	○	
	硝酸 (61%、20°C)	○	○	○	
	硝酸アンモニウム	○	○	△	
	硝酸カルシウム	○	○	—	
	硝酸カリウム	○	○	△	
	硝酸銀	○	○	△	
	硝酸ナトリウム	○	○	○	
	硝酸鉛	○	○	—	
	食塩	○	○	△	
	水銀	○	○	△	
	水酸化マグネシウム	○	○	△	
	水酸化カルシウム	○	○	△	
	水酸化バリウム	○	○	○	
	水素	○	○	○	
タ	セロソルブ	○	○	△	
	炭酸	○	○	△	
	炭酸アンモニウム	○	○	△	
	炭酸ガス	○	○	○	
	炭酸ナトリウム	○	○	△	
	チオ硫酸ナトリウム	○	○	△	
	テトラヒドロフラン	○	×	○	
	天然ガス	○	○	○	
	灯油 (ケロンシン)	○	○	○	
	トリクロレチレン	○	○	○	
	トリクロル酢酸 (10%、80°C)	○	○	△	
	トルエン	○	○	○	
ナ	ナフサ	○	○	△	
	ナフタリン	○	○	△	

薬品名	樹脂	4フッ化系 フッ素樹脂	2フッ化系 フッ素樹脂	SUS 316L
ナ				
二塩化エチレン	○	○	△	
ニトロベンゼン	○	○	△	
パークロロエチレン	○	○	△	
バルミチン酸	○	○	△	
ピクリン酸	○	○	△	
ひ酸	○	○	△	
ヒドラジン	○	○	○	
ビリジン	○	×	△	
フェニルヒドラジン	○	○	-	
フェノール	○	○	△	
ふっ化アルミニウム	○	○	×	
ふっ化水素酸 (10%、20°C)	○	○	×	
ふっ化水素酸 (20%、20°C)	○	○	×	
ふっ化水素酸 (40%、20°C)	○	○	×	
ふっ化ほう素酸	○	○	○	
ブチルアルコール (ブタノール)	○	○	○	
フラン	○	×	○	
フルフラール	○	○	△	
フレーキオイル DOT3	○	×	-	
プロピルアルコール	○	○	○	
ヘキサン	○	○	△	
ヘプタン	○	○	○	
ベンジルアルコール	○	○	△	
ベンズアルデヒド	○	×	△	
ベンゼン (ベンゾール)	○	○	△	
ほう砂	○	-	○	
ほう酸	○	○	△	
ホルムアルデヒド (40%、20°C)	○	○	△	
マ				
マレイン酸	○	○	△	
水 (24°C)	○	○	○	
明ばん	○	○	-	
メタン	○	○	△	
メチルアルコール (メタノール)	○	○	△	
メチルイソブチルケトン (MBK)	○	×	△	
メチルエチルケトン (MEK)	○	×	△	
モノクロロ酢酸	○	○	-	
ラ				
硫化ナトリウム	○	○	△	
硫化水素	○	○	△	
硫化シリウム	○	○	△	
硫酸 (10%、20°C)	○	○	×	
硫酸 (10%、80°C)	○	○	×	
硫酸 (30%、20°C)	○	○	×	
硫酸 (30%、80°C)	○	○	×	
硫酸 (98%、20°C)	○	○	×	
硫酸アルミニウム	○	○	○	
硫酸アンモニウム	○	○	△	
硫酸カリウム	○	○	△	
硫酸第二鉄	○	○	△	
硫酸銅	○	○	○	
硫酸ナトリウム	○	○	△	
硫酸ニッケル	○	○	△	
硫酸バリウム	○	○	△	
硫酸マグネシウム	○	○	○	
りん酸 (50%、20°C)	○	○	△	
りん酸 (50%、80°C)	○	○	×	
りん酸 (75%、20°C)	○	○	△	
りん酸アンモニウム	○	○	△	
りん酸ナトリウム	○	○	△	